

消防学校だより

令和3年2月・3月号

発行年月日 令和3年3月22日
発行 宮崎県消防学校

第60期初級幹部科入校

令和3年2月24日(水)から3月9日(火)の10日間で第60期初級幹部科研修を実施しました。

本研修には県内9消防(局)本部から25名が入校し、コロナ禍で様々な制限がある中ではありましたが、初級幹部科学生らしく真摯に教育訓練に取り組みました。



総代 西都市消防本部 鎌田 亮一

公務員倫理

2月24日(水)、学校長が公務員倫理の講義を行いました。

公務員倫理や職員に求められる基本規程、プロフェッショナルとしての認識、職員のモラル(倫理)と職場のモラル(士気)などを話されました。

初級幹部の皆さんへ

- ・昇任するということは、職務上の権限と責任の度合いが増大する
- ・自分で判断する場面も多くなり、頼りにされる存在となる。
- ・部下職員の規範となることから、部下よりも高い倫理意識を持つとともに、部下がしっかり倫理意識を持って行動するよう指導する必要がある。
- ・でも、まだ相談できる上司がいる。



備品整備

2月25日(木)、都城市消防局 川添 章弘 司令補(平成27年度～平成29年度消防学校教官)に備品整備と題して消防資機材の仕様書の書き方、備品購入の予算、補助金の種別など実務事例を交えながら御講義いただきました。

これから、様々な部署で活躍する職員へ多くの引き出しを造っていただきました。



予防行政（法体系・設備・危険物）

2月26日(金)、宮崎市消防局予防課職員の方から予防行政の法体系、消防設備、危険物について講義していただきました。



法体系
土橋 洋平 司令補

消防法の法体系の説明をはじめ、資料提出命令や立入検査など、実務を行う際に必要となる根拠法について、過去の事例を交えて講義していただきました。



消防設備
吉村 康晴 司令補

消防用設備等の区分及び種類、消防用設備等の設置及び維持の技術上の基準など、実務を行う上で必要となる専門的な講義をしていただきました。



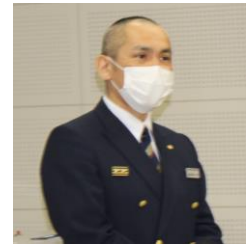
危険物
濱砂 貴士 司令補

消防法上の危険物について、危険物の分類・性質、第4類の指定数量のポイントをはじめ、危険物を規制する法令などについて講義をしていただきました。

消防財政

3月1日(月)、宮崎県東児湯消防組合 総務課長 瀬川 幸一郎 司令に消防財政について講義していただきました。

財政の三つの大きな働きをはじめ、消防財政の特色や、消防費の決算状況、消防防災施設整備費補助金や緊急消防援助隊設備整備費補助金などの消防防災施設等に係る国庫支出金の説明などの講義をしていただきました。



LGBT・ハラスメント対策

3月3日(水)、県人権同和対策課 加治屋 逸郎 主査を講師に招き、人権について講義を受けました。

人権とは、「私たちが幸せに生きるための権利」、相手の立場に立って「思いやり」、自分を大切に「自己肯定感」の気持ちを持つことや、ハラスメントやLGBTなど、常日頃からのコミュニケーションと職場や仕事仲間同士でのケジメと思いやりを持つことを講義していただきました。



メンタルヘルスと惨事ストレス対応

3月4日(木)、消防庁緊急時メンタルサポートチームの公認心理師 臨床心理士 首藤 啓介氏に、惨事ストレス対応の講義をしていただきました。講義では、惨事ストレスについて復習し、誰もがメンタル系疾患に罹患する可能性がある事、体が弱っているときに筋トレをしないのと同じように、メンタルが弱っているときに心のトレーニングは行わないことなどを含めた講義をしていただきました。



燃焼実験・実火災体験

3月4日(木)、燃焼実験と主訓練塔地下の燃焼室で実火災体験を実施しました。

燃焼現象を理解し、炎の発する実際の熱と煙を体感しながら、初期から最盛期までを一連で見ることで、火災現場で指揮を執る際に、的確に指示が出来る事を目的に実施しました。



現場指揮訓練

3月5日(金)、現場指揮訓練を実施しました。

指揮者の責任と必要性をしっかりと理解し、実態把握・状況判断・決断(活動方針)・命令と実行・報告と評価の指揮の基本パターンを行いながら訓練を実施しました。

火災状況や危険状況表示には現示旗を使用し、表示を読み取りながら指揮を行いました。

情報共有



実態把握



命令と実行



報告



学生企画訓練

3月8日(月)、学生企画訓練を実施しました。訓練は初級幹部科の総括として実施し、学生自らが訓練計画作成、安全管理配置、時間管理を行いました。

初級幹部として各所属で今後訓練を計画し実施させる際に、この訓練で気づいたことを生かしてほしいと思います。



事例研究発表

3月9日(火)、事例研究発表を実施し、各所属で自らが経験した事例を発表しました。他の学生が経験した多くの事例を聞くことで、今後、類似事案に遭遇した際に役立てることが出来ると思います。



牧 公祐 永澤 順平 藤本 尉公 白瀧 倫大 大山 圭一郎 猪俣 悠介 森 大輝 関屋 和則 鎌田 亮一



笠掛 誠 坂元 司 菌田 卓磨 福留 健志 松田 雄介 阪元 勇哉 甲斐 進悟 玉田 雄一 熊本 恭詩朗



上村 修司 猪之俣 文彦 小高 聖二郎 豊増 樹 椎屋 翔太 甲斐 拓也 甲斐 悠介

令和 2 年度消防団指揮幹部科現場指揮課程後期(3 次～6 次)

令和 3 年 3 月 6 日～7 日(3 次)、3 月 9 日～10 日(4 次)、3 月 13 日～14 日(5 次)、3 月 16 日～17 日(6 次)の日程で消防団指揮幹部科現場指揮課程を実施しました。

地域における消防防災リーダーとなる消防団員は、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。その組織の中でも中核となる団員の教育課程として現場指揮、安全管理、火災防備訓練、救急救助訓練、地域防災指導訓練等を実施しました。

破壊器具取り扱い



地域防災指導(消火器取り扱い)



現場指揮



4 月の主な行事

・ 第 66 期初任科入校式

4 月 6 日(火)

・ 令和 3 年度消防団指揮幹部科
現場指揮課程

1 次

4 月 17 日(土)～18 日(日)

2 次

4 月 22 日(木)～23 日(金)

・ 操法指導員研修

ポンプ車操法

4 月 26 日(月)

小型ポンプ操法

4 月 27 日(火)

積載車操法

4 月 28 日(水)

宮崎県消防学校

担 当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電 話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp